

教育課程編成委員会議事録

記録者 高橋正行

1. 日時 令和4年11月～12月 17:00～
2. 場所 新館
3. 出席者 内部委員（敬称略）池田昌央、阿見芳明、境田三由紀、星野丈二、高橋正行
外部委員（敬称略）吉田三晃、吉田昌央、石井孝治、竹野内宏明、堀口麻里、永井良幸、石川真樹

【分科会】

■理容科

池田委員：早期離職者を減らすためカギは、業界と学校がスムーズに接続できているかどうかという点にあると考えている。

このことを実現するため、仕事を疑似体験するような学校生活や授業の開発を考えている。

業界と連携する職業教育の具体的なありようをご助言いただきたい。

吉田委員：理容サロンで働く最近の若手スタッフを見ていると気質の変化を感じる。

他者との協働に慣れていない、あるいはその経験が不足しているように思われる。なかには協働そのものを受け付けられない者もいる。

集団の中で他者と関わり共に活動していく、社会性を育む教育が必要な時代なのではないか。

来客実習の内容を工夫して、相手の気持ちを考える（推察する）ことと、それに対応した評価項目を実習の要素に取り入れたらどうだろうか。

実習内容をこのように組み立てることで、相手の気持ちを考える経験・学びを得ることができ、それは就職後にも役立つスキルになると思う。

また、2年生の後期は就職先も内定していると思う。その内定先でシャンプーやマッサージなどの施術を実践することを目的にした、「研修型の実務実習」を実務実習第2弾として実施することを検討してはどうか。これはサロン側にもメリットがあると思う。

■美容科

阿見委員：1年生前期のキャリア教育への取り組みは以下のとおり。

① 5月19日 業界人（サロンオーナー、本校卒業生）による技術展示と職業講話

② 6月22日 卒業生（大型店舗スタイリスト兼店長）による技術展示と職業講話

③ 7月6日 卒業生（都心部勤務、スタイリスト）による技術展示と職業講話

今後の予定としては、

④ 2月16日 業界人（サロンオーナー）による職業講話

これは①～③の学習内容の総括であり、同時に本格的な就職活動に向けたキャリア

プランニングの指導を予定している。

石井委員：「業界およびサロンの実態」「求められる人材」「多店舗展開しているサロン」「都心部のサロン」に勤めることのメリット・デメリット、プロとしてのマインドセット並びにキャリアプランニングの仕方など指導の目的が明確であり、的確であると思う。

竹野内委員：キャリア教育の話を書きの委員会で聞いていたので、その後、自分の授業中に、技術指導に加え、キャリアプランニングについての話もした。
自分の経験から得た考え方を、学生目線に立って話したつもりだが、「どんな美容師になりたいのか」を考えるきっかけに少しでもなってくれたら嬉しい。

■ビューティアーティスト科

星野委員：各種検定試験へ向けた指導内容及び教育(仕組み)の再検討が必要だと感じている。
1年生の結果が思わしくない。1回で合格できない者もいる。
一方で、フォトコンテスト等の技術習熟度を評価する検定においては、良好な結果を出しているので、弱い種目を強化する仕組みづくりについて、ご意見を伺いたいと思います。

石川委員：色彩検定に関しては、平均点は昨年度と同等だが、得点分布が高得点層と低得点層に2極化してきている。

星野委員：学校全体の取組みとして、学内に新たに検定委員会を設け、学生たちの主体的な活動(学び)を促す方法論を模索中である。
今年度の検定対策は授業毎の確認テストと補講の強化である。
また、学生の動機付けとして、各検定に関わる業界人による展示授業の実施を検討している。ご意見をお聞かせ願いたい。

石川委員：まず、検定受験は授業の必須内容であるということを教職員と講師でしっかり認識し、学生たちに伝えることが重要である。
学生たちの意識状況は教職員と講師の意識の産物であるという認識を持ってほしい。
前回でも話したとおり、**熱意のある姿勢**を大切にしてほしい。

■ビジネス美容科

境田委員：1年生は2月から就職活動を開始。校内に企業人事担当者をお招きして行うサロン説明会は3月上旬に実施する。
学外実習(インターンシップ)は2月に実施する。

永井委員：エステティック業界は就職活動が早いので、学校側も就職指導の進め方に苦慮していると思う。また、学生にしても入学して1年も経たずに就職活動となるので、学業と就職活動の両立で忙しいことと思う。
卒業生による座談会では御校卒業生を派遣する。是非とも協力したいと考えている。
この経験は、本人たちにとっても勉強になると思う。後輩学生のお役に立てることが、大きな社会貢献となると思う。

境田委員：次に、2年生の状況は次のとおりである。

センター試験は全員合格。A E A 上級認定エステティシャン 15 名合格。
2 月 14～16 日までシデスコ国際試験。この試験に向けて授業を進めている。

堀口委員：昨年度の経験を活かし、対策を練ることが大事。前年踏襲とはせずに、常に P D C A サイクルを回すことが何よりも大事。
そうすることで試験対策の検討を深めることができる。私も協力するので学生の資格取得のために頑張っていこう。

以上